

令和元年度 第1回弘前市廃棄物減量等推進審議会会議要旨

- 日 時 令和元年7月3日（水）13時30分～15時00分
- 場 所 弘前地区環境整備センター 管理棟3階会議室
- 出席者 内山委員、吉田委員、安東委員、葛西委員、齋藤（安）委員、
三橋委員、佐藤委員、田澤委員、小田桐委員、木村委員、森山委員
- 欠席者 高野委員、椛澤委員、齋藤（正）委員
（委員14名のうち11名出席）
- 事務局 三浦市民生活部長、森岡環境課長、成田町田事業所長、福土環境課長補佐、
山内主幹兼資源循環係長、藤田廃棄物政策係長、
成田廃棄物政策係総括主査、安田廃棄物政策係主査、
石岡廃棄物政策係主事

○内 容

1 開 会（進行：福土環境課長補佐）

2 部長挨拶

3 会 議（進行：内山会長）

（1）【案件1】市民アンケート調査結果について

⇒【資料1】について事務局から説明を行った。

※意見・質問等なし

（2）【案件2】ごみ分別ガイドブックについて

⇒【資料2】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

- ・ダンボールでは出せないことをもっと強調した方が良い。

→わかりやすく、目立つようなかたちで掲載したい。

- ・最終校正前に審議会で意見を出せる機会が欲しい。

→案がある程度固まった早い段階で、もう一度目を通していただく機会を設けたい。

- ・ガイドブックの改訂はどのくらいの頻度になるのか。

- ・企業からの広告を入れ替える段階で改訂を行えば、市民の意見なども反映しやすい。

→広告収入で発行費用を全て賄うことができないため、基本的には、今年度一回の発行となるが、制度なり分別区分なりが変更されたタイミングで改訂版を発行することになると想定している。

(3) 【案件3】 災害廃棄物処理計画の概要について

⇒【資料3】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

- ・仮置場はどのタイミングで決めるものなのか。
→災害の規模や発生する場所によって、場所や面積が異なってくるため、発生後に災害対策本部で決定することとなる。候補となる市の公用地の面積や位置は計画の段階で把握しておく必要はある。
- ・最終的に埋立処分される量がかなりのウェイトを占めるようだが、埋立処分場の残容量の確認などもされるのか。
→埋立処分場の残容量を確認しながら、計画策定していく。
- ・農作物被害の処理フローもあったほうがよい。
→参考にさせていただきたい。

(4) 【案件4】 事業系ごみ搬入規制の強化について

⇒【資料4】について事務局から説明を行った。

※質問・意見等なし

4 課長挨拶

5 閉会（進行：福土環境課長補佐）

○資料

- ・【資料1】 市民アンケートの調査結果について
- ・【資料2】 ごみ分別ガイドブックの発行について
- ・【資料3】 災害廃棄物処理計画の概要について
- ・【資料4】 事業系ごみ搬入規制の強化について
- ・付録 平成30年度弘前市ごみ減量・リサイクルに関するアンケート調査全体版

○公開・非公開の区分 「公開」